

## ■温室効果ガス削減の目標

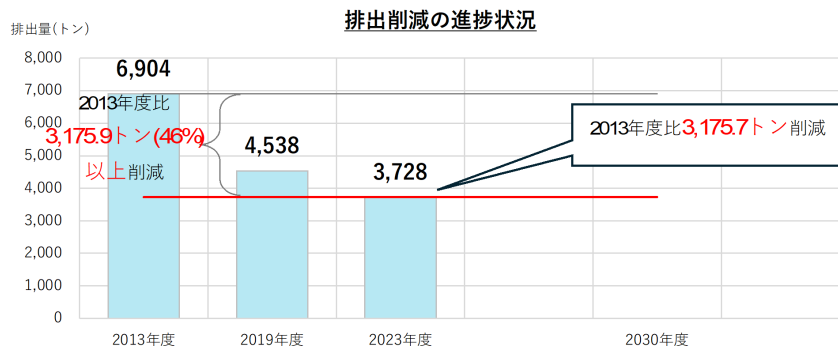
	削減目標（政府目標値）
2030年度	2013年度比 46%（3,175.9トン）以上
2050年度	カーボンニュートラル

## ■温室効果ガス排出量の推移

宮崎空港の2023年度の温室効果ガス排出量は、2019年度比809トン減少の3,728トンである。  
 ※端数処理により2023年度の2013年度比は46%となるが、削減量（0.186トン）は未達。

	温室効果ガス排出量(トン)		
	2013年度	2019年度	2023年度
空港施設	6,441	4,117	3,341
空港車両	464	421	387
計	<b>6,904</b>	<b>4,538</b>	<b>3,728</b>

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数・・・2013年度：0.599、2019年度：0.347、2023年度：0.475

## ■2019年度～2023年度の温室効果ガス排出量の増減背景

宮崎空港の2023年度の航空機の運行回数はコロナ禍前（2019年度）と同程度（旅客数は増加）に回復したものの、脱炭素化施策の取組を背景に、温室効果ガス排出量は2019年度に比べて減少した。

## ■脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 建築施設照明のLED化、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用等の取組が行われた。</li> <li>➤ 航空灯火のLED化の取組が行われた。</li> </ul>
空港車両に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ バイオ燃料使用車両1台、ハイブリッド車両2台への更新が行われた。</li> </ul>
再エネ導入促進に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
その他の取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)